

## かたくなな心

出エジプト記九章

しかし、主がファラオの心をかたくなにしたので、彼は二人の言うことを聞かなかった。主がモーセに語られたとおりである。(12)

度重なる災いにもかかわらず、ファラオは心をかたくなにしてイスラエル人を去らせようとはしませんでした。これまで、「ファラオの心はかたくなになり」(713 22、ハ15)、「心をかたくなにして」(ハ11 28)と記されてきましたが、ここでは「主がファラオの心をかたくなにしたので」と表現されています。神はファラオに対して繰り返し悔い改めの機会を与えてきましたが、王はそれらを無視して主に逆らい続けました。このため、悔い改めの機会は過ぎ去り、神の審きを受ける時となったのです。エジプトに下される災いは悔い改めを迫るためのものではもはやなくなり、罪に対する神の厳しい審きとして下されることになりました。神は今も、私たちが神のもとに立ち返るようにと愛をもって招いておられます。私たちが心をかたくなにして、その愛の招きを拒むことがありますように。